

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成27年6月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図3）

F1噴気孔群及びF2噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-③、図2）

14日未明に、アトサヌプリ南西の浅い所が震源と推定される微小な火山性地震が、一時的に増加しました。地震増加時に噴気活動や地殻変動に特段の変化はありませんでした。

そのほかの期間では、火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図1-④⑤）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

今回の火山活動解説資料（平成27年7月分）は平成27年8月10日に発表する予定です。

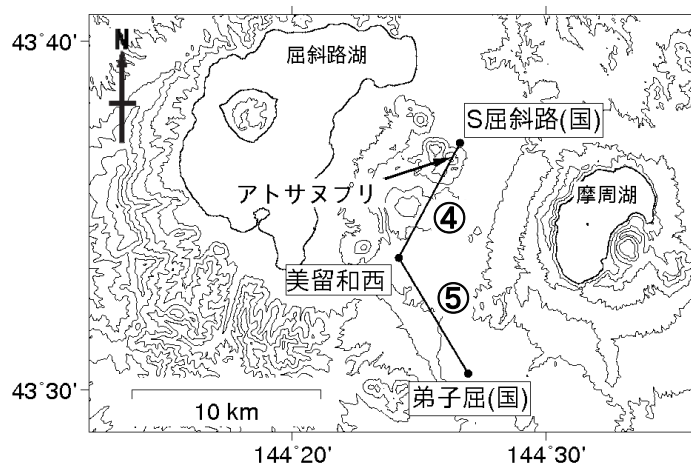
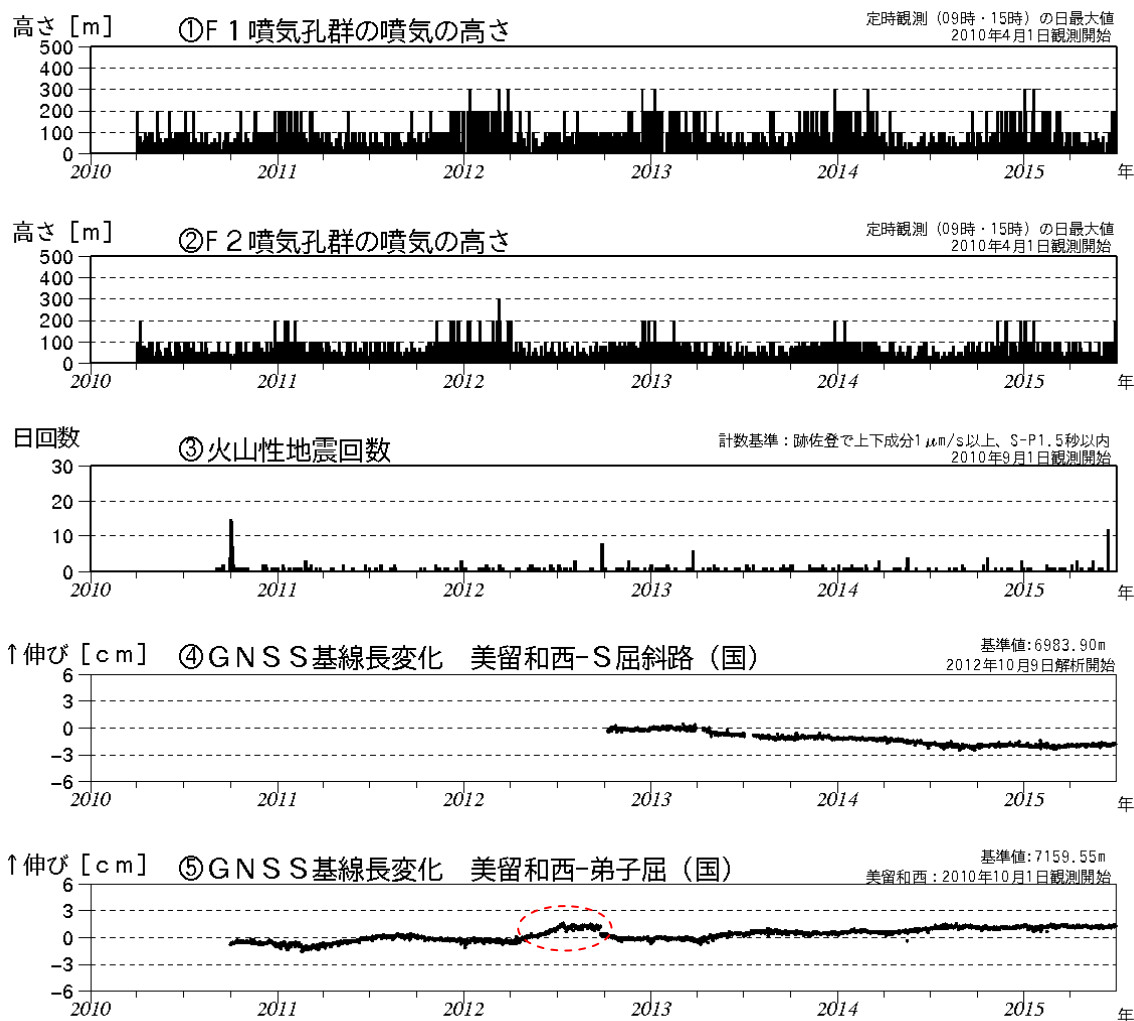


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図（2010年4月～2015年6月）及びGNSS連続観測点配置図

- ・ GNSS基線の④⑤は配置図の④⑤に対応しています
- ・ GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- ・ ⑤の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採（2012年9月下旬）によるものです
- ・ (国)：国土地理院

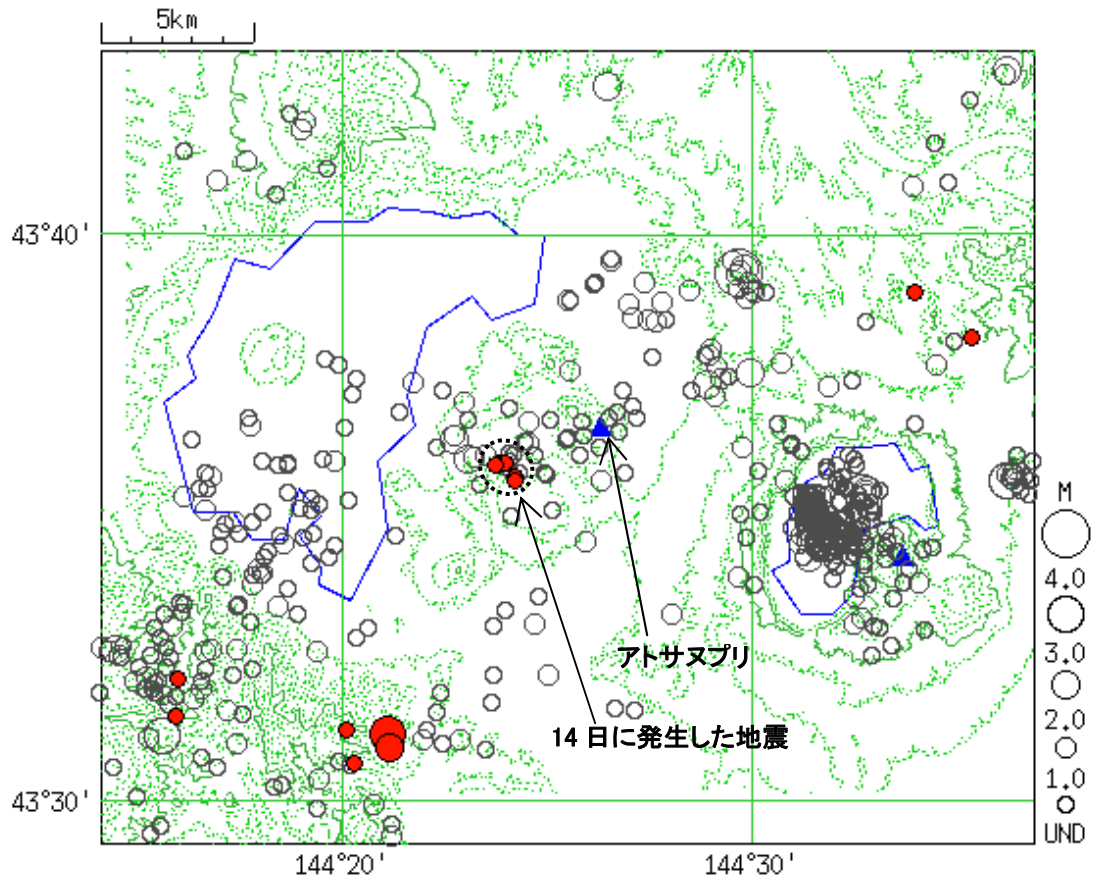


図2 アトサヌプリ 広域地震観測網による山体周辺の地震活動
(1997年1月1日～2015年6月30日、M \geq 0、深さ30km以内)
・6月に発生した地震を赤いシンボルで表示しています



図3 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(6月21日、北東山麓遠望カメラによる)

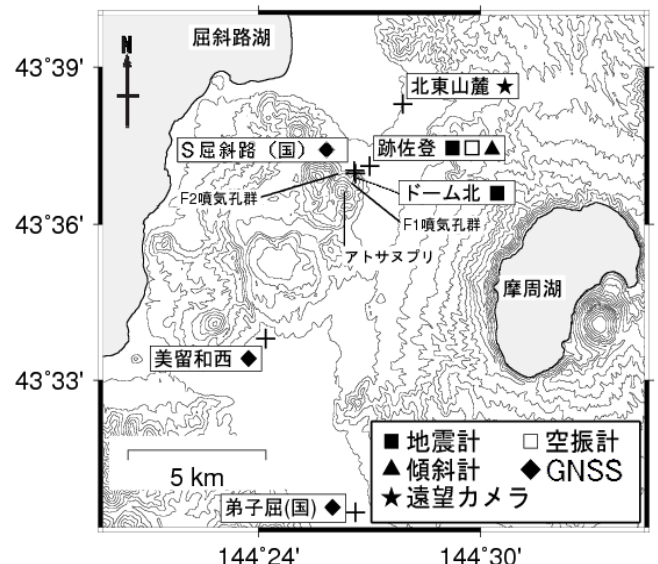


図4 アトサヌプリ 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
(国)：国土地理院